

経営比較分析表（平成28年度決算）

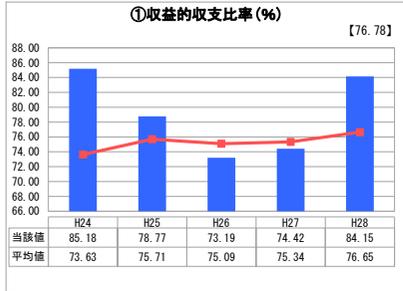
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	96.26	4,170	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,558	67.58	111.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,183	34.23	209.85

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



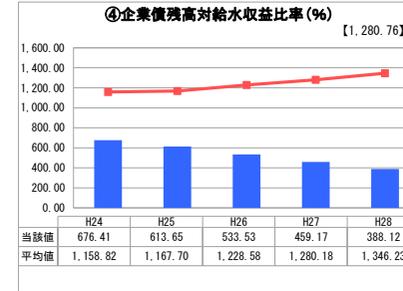
「単年度の収支」



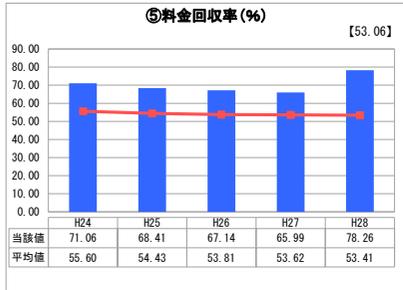
「累積欠損」



「支払能力」



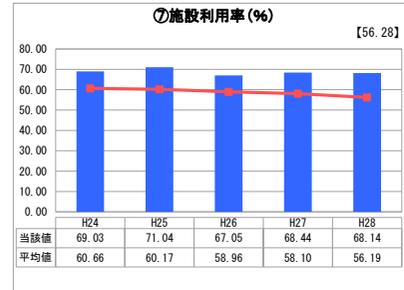
「債務残高」



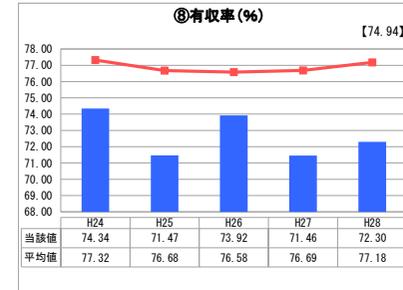
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

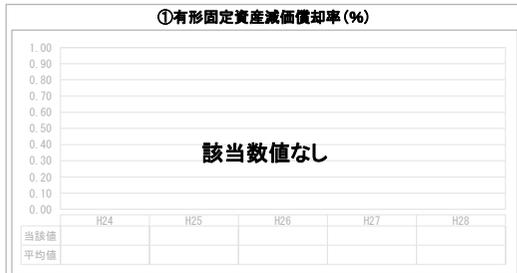


「施設の効率性」

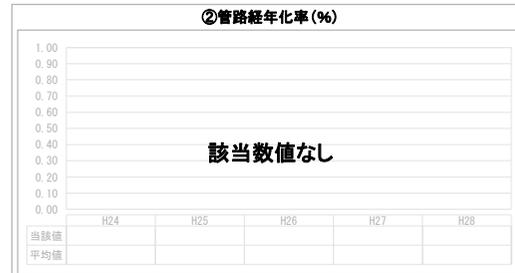


「供給した配水量の効率性」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①地方債の償還が一部終了し地方債償還金が減少したこと、大きな災害、工事などもなく修繕費、工事費、負担金等の総費用の削減に比例して収益的収支比率が上昇した。水道使用料も増加した。また平成29、30年度で地方債の償還が約30%終了する。料金回収率も水道使用料の増加と管路等の工事や修理の減少に伴い改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

平成15年度までの下水道整備時と平成23、24年度の志岐地区特定農業用管路特別対策事業に併せて配水管の布設替えを行った。さらに富岡地区においては送水管、配水管で漏水が頻発していた為、平成23、24年度で布設替えが完了している。現在は道路改良やダムの送水管の工事に併せて随時布設替えを行う程度である。

全体総括

修繕等が増えることで経営面には大きく影響するため効果的な管路の更新や、漏水箇所の早期発見に努め最小限の支出にとどめ地方債の償還も計画どおりに行っていく。経営戦略は平成28年度に策定済み。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。